

## 2013 年度 立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業 東北応援ツアーレポート

〈匿名希望〉

私が東北応援ツアーに参加したのは、地元校友会の総会・懇親会の席上、平成 24 年度ツアーに行ってきた校友からの参加報告があり、私も、被災地の現状を自分の目で確かめてみたいと感じたからです。

震災から 2 年以上の月日が流れ、被災地に関する報道頻度も少なくなってきましたが、実際に現地を訪問して被災地の現状を目の当たりにすると、復興はまだまだこれからであるという現実を再認識させられました。

また、現地の校友から、あの日、生死を分けた人それぞれの「行動の違い」についての体験談を聴き、日頃、頭の中では分かっているつもりでも、実際に遭遇するとどんな行動に出るか判らず、貴重な教訓を我が身に活かしていこうと強く感じました。

一方、地震・津波や放射線による被害のみならず、農畜産物・水産物への風評被害や福島県民同士の複雑な感情（補償の有無）等の諸問題も発生していることにも改めて気づかされました。

福島県校友会の皆さんの、被災地だけでなく、ぜひ福島の良い所も観て帰って欲しいとの心意気に感銘を受けました。美味しい海の幸・山の幸・地酒・見事な景色、賑やかな観光地等、福島の良さも満喫させていただきました。

2 日間、我々を迎えてくださった福島県校友会の皆様および今回貴重な機会を与えてくださった立命館大学校友会に感謝いたします。

以上